

## 審査の結果の要旨

氏名 プディアール アモッド クマル

本研究はネパールにおける地域のプライマリ・ヘルス・ケアを向上するために現地の人々が最初に相談する呪術医（local traditional healers）への現代医療トレーニングが効果的であるかどうかを、呪術医トレーニングモデル、応急処置キット（First Aid kit）利用、および眼科ケアにおける呪術医の役割を評価したものであり、下記の結果を得ている。

1. 呪術医トレーニングモデル：トレーニングを受けた呪術医は、それを受けなかった呪術医に比べると、現代医療に関するより正しい知識があった。たとえば、トレーニングを受けた呪術医のうち、大多数（85%）は感染症の原因を細菌などの微生物としていたのに対して、それを受けなかった呪術医は40%しか微生物を原因とはとらえていなかった（ $P < 0.001$ ）。また栄養失調（ $P < 0.0001$ ）、急性呼吸器感染症（ $P < 0.0001$ ）、下痢症（ $P < 0.0001$ ）について、トレーニングを受けた呪術医は、受けなかった呪術医に比べてより正しい知識を持っていた。初期治療キットを利用した現代治療も行っていた。また、トレーニングを受けなかった呪術医と比べ、それを受けた呪術医の殆ど（92%）は、患者をヘルスポストに照会していた（ $P < 0.05$ ）。トレーニングを受けた呪術医は、政府系医療従事者との関係改善にもより強い関心を示していた。このことから、呪術医の現代医療トレーニングが効果的であることを示した。

2. 呪術医の応急処置キットの評価：トレーニングから4年経過していたのにも関わらず、約90%の呪術医は、キットを利用していたことが確認された。医薬品を維持するため、23人（52%）の呪術医は患者に医薬品の代金を請求していた。患者から受け取った医薬品

の代金を用いて、23 人のうち 15 人の呪術医が実際に必要な医薬品を購入していた。一方、一度も患者に医薬品代を請求したことがない呪術医は 21 人いた。医薬品を無料で提供した理由は様々であった。中には、応急処置キット維持のために患者に費用を請求するのは自分の流儀ではないという考えも見られた。約 50%の呪術医は、より多くの医薬品の入っている、より大きな応急処置キットを欲しがっていた。よって、ネパール遠隔地において現代医療トレーニングを受けた呪術医にとって、応急処置キットは重要な治療器具であることを示した。

3. 呪術医の眼科治療に関する役割：トレーニング前に比べて、トレーニング終了 5 年後では、呪術医のトラコーマに関する知識 (28.2% vs. 70.9%,  $P<0.0001$ ) と白内障に関する知識 (54.4% vs. 94.2%,  $P<0.0001$ )が増加していた。またトレーニング終了後、98 人 (95%) の呪術医は、伝統的な方法による眼科ケアを中断した ( $P<0.0001$ )。現代医療機関への照会数も有意に増加した (15% vs.100%,  $P<0.0001$ )。また、トレーニング終了後 98 人(95%)の呪術医は眼の充血や単純な眼傷の治療のために、Nepal Netra Jyoti Sangh が配布した眼科ケアキットを利用していた。以上より、眼科ケアトレーニングプログラムに参加したネパールの呪術医が伝統的な方法による眼科ケアを止め、現代医療機関の照会をより頻繁にするようになったことを示した。

以上、本研究はネパールにおいて呪術医のトレーニングに関して評価を行った最初の報告書である。本結果から、現代医療従事者の数が十分ではないネパールにおいて地域に存在する呪術医を活用することで、地域のプライマリ・ヘルスを向上することが可能であると考えられる。このことより、本結果は、今後、発展途上国にあるネパールの保健医療に貢献されると思われるため、学位の授与に値するものと考えられる。